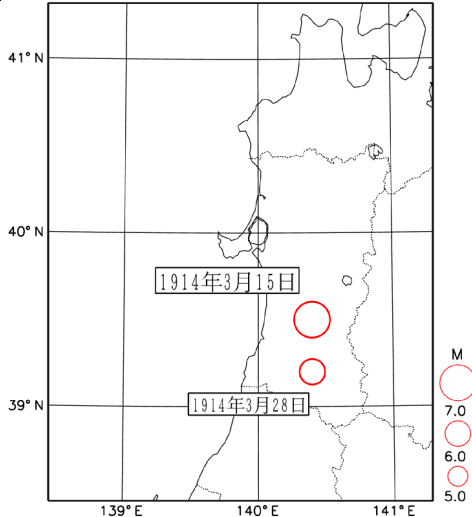


1914年(大正3年)3月15日の秋田県南部の地震(強首地震)による災害

発生日時	1914年(大正3年)3月15日 04時59分	資料
震央地名 地域(名称)	秋田県南部 (北緯39° 30′ 、東経140° 24′)	
震源の深さ	10km	
地震の規模 (マグニチュード:M)	7.1	
県内の震度		
災害発生市町村	仙北郡、由利郡、平鹿郡、秋田市、河辺郡、雄勝郡、南秋田郡	 ○: 1914年3月15日と3月28日の地震の震央
地震概要		
3月28日にはM6.1の最大余震が発生。		
被害概要	仙北郡で最もひどく、全体で死94、傷324、家屋全潰640、半潰575を生じた。激震地域は横手盆地とその西の雄物川沿いの地で、横手盆地は明治29年の陸羽地震のときにも被害を受けた。住家全潰率は、とくにひどかったのは大曲町東川(現在の大仙市大曲)50%、神宮寺村宇留井谷地(現在の大仙市神宮寺)86%、強首村強首(現在の大仙市強首)52%、大沢郷村北野目(現在の大仙市北野目)74%である。大沢郷村、南檜岡村(現在の大仙市南外)では山崩れ多く、一時的に池を生じたところも多い。由利郡大正寺村(現在の秋田市雄和)では雄物川中に高さ35m、幅35m、長さ160mの小島をつくった。仙北郡外小友村湯本(現在の大仙市南外)の相之湯温泉は陸羽地震(明治29年)のときに泉量が1/4になったが、9年後に復旧し、今回の地震後まったく涸渇した。	

1914年(大正3年)3月15日の秋田県南部の地震(強首地震)による災害

群市名	死者 (人)	負傷者 (人)	住家(棟)				非住家(棟)			
			焼失	全壊	半壊	破損	焼失	全壊	半壊	破損
仙北郡	86	278	3	580	483	2,664	3	232	221	928
由利郡	4	29		18	45	708		27	24	804
平鹿郡	4	8		33	25	656		13	27	234
秋田市		5		3	4	93		2	3	102
河辺郡		3		5	17	74		11	30	219
雄勝郡		1				35				4
南秋田郡				1	1	2				34
計	94	324	3	640	575	4,232	3	285	305	2,325

最新版 日本被害地震総覧による